令和６年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

養 護 教 諭

解答についての注意点

１　解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の２種類があります。

２　大問 1 ～大問 4 については、マーク式解答用紙に、大問 5 については、記述式解答用紙に記入してください。

３　解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。

４　大問 1 ～大問 4 の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は [1] 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 1 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。

５　間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。

６　その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

Ⅰ　各種法令、保健室経営及び水泳プールの衛生管理について、次の（１）～（４）の問いに答えよ。

（１）学校保健安全法（平成28年４月１日施行）及び学校保健安全法施行規則（令和５年５月８日施行）について、次のア～ウの問いに答えよ。

ア　学校保健安全法第九条の条文について、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**１**～**５**から一つ選べ。解答番号は［　１　］

第九条　　養護教諭その他の［　A　］は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の健康状態の［　B　］により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、［　C　］、当該児童生徒等に対して［　D　］を行うとともに、必要に応じ、その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な［　E　］を行うものとする。

	A	B	C	D	E
１	教諭	聞き取り	遅滞なく	必要な指導	支援
２	職員	日常的な観察	遅滞なく	必要な指導	助言
３	職員	聞き取り	もれなく	受診勧告	助言
４	教諭	日常的な観察	遅滞なく	受診勧告	助言
５	職員	聞き取り	もれなく	必要な指導	支援

イ　学校保健安全法施行規則第九条の条文について、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 2 ］

第九条　［ A ］においては、法第十三条第一項の健康診断を行つたときは、二十一日以内にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその保護者（中略）に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第十四条の措置をとらなければならない。

一　疾病の［ B ］を行うこと。
二　必要な医療を受けるよう指示すること。
三　必要な検査、予防接種等を受けるよう指示すること。
四　療養のため必要な期間学校において学習しないよう指導すること。
五　［ C ］への編入について指導及び助言を行うこと。
六　学習又は運動・作業の軽減、停止、変更等を行うこと。
七　修学旅行、［ D ］への参加を制限すること。
八　机又は腰掛の調整、座席の変更及び学級の編制の適正を図ること。
九　その他発育、健康状態等に応じて適当な［ E ］を行うこと。

	A	B	C	D	E
1	学校	予防処置	特別支援学級	対外運動競技等	保健指導
2	学校の設置者	管理	特別支援学校	対外運動競技等	受診勧奨
3	学校	予防処置	特別支援学校	体育的行事	保健指導
4	学校	管理	特別支援学級	体育的行事	受診勧奨
5	学校の設置者	予防処置	特別支援学級	体育的行事	保健指導

ウ　学校保健安全法施行規則第十八条及び第十九条に規定された学校において予防すべき感染症における第二種の感染症名及び出席停止の期間の基準について、空欄Ａ～Ｅに当てはまる正しい語句の組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［　3　］

種類	感染症名	出席停止の期間の基準
第二種の感染症	インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	発症した後五日を経過し、かつ、解熱した後二日（幼児にあつては、三日）を経過するまで。
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は［　A　］日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。
	麻しん	解熱した後［　B　］日を経過するまで。
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後五日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
	風しん	発しんが［　C　］するまで。
	水痘	すべての発しんが［　D　］するまで。
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後［　E　］日を経過するまで。
	新型コロナウイルス感染症	発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで。
	結核	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。
	髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。

	A	B	C	D	E
1	五	三	痂皮化	消失	三
2	三	五	消失	消失	二
3	三	三	痂皮化	痂皮化	二
4	五	三	消失	痂皮化	二
5	五	五	消失	痂皮化	三

（2）保健室について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 4 ］

A　子どもの健康づくりを効果的に推進するために、学校保健活動のセンター的役割りを果たしている保健室の経営の充実を図ることが求められている。その保健室の役割については、学校保健安全法施行規則（令和５年５月８日施行）第７条にて明確に示されている。

B　公益財団法人日本学校保健会「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引 令和３年度改訂」（令和４年３月）にて、保健室登校への対応における指導のポイントとして、「長期化することは望ましくないので、その場合には指導方法の再検討が必要となることを、保護者や関係教職員が十分認識しておく必要がある。」と示されている。

C　保健室経営計画（課題解決型）とは、学校保健活動の年間を見通して、「保健教育」「保健管理」「組織活動」の３領域について立てる総合的な基本計画である。

D　養護教諭が中心となって、計画的・組織的に保健室経営を推進・充実できるように、保健室経営計画（課題解決型）に保健室利用方法や健康観察の方法、感染症発生時の対応について記し、教職員と共通理解を図っておく必要がある。

E　保健室経営計画（課題解決型）における自己評価の評価規準は、総合的に「よくできた」「ほぼできた」「あまりできなかった」「まったくできなかった」の４件法で評価する。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	○
2	○	×	○	×	×
3	×	○	○	×	○
4	×	○	×	×	○
5	○	×	○	○	×

（3）次は、中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（令和３年１月26日）を一部抜粋したものである。空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 5 ］

○　生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力を育成するための方策

・健康教育においても、児童生徒等の心身の状況等を踏まえて、［ A ］に基づく個に応じた指導・支援を充実させることにより、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質・能力（［ B ］等）を育成することが重要である。

・今後、ますます多様化する社会の変化の中で、子供たちの置かれている生活環境も様々であり、［ C ］においても今まで以上に個別に寄り添った支援が求められる。

○　いじめの重大事態、虐待事案等に適切に対応するための方策

・児童生徒が主体となった［ D ］や社会性を高める活動の促進、生徒指導上の課題との関連も指摘される背景等の困難を抱える児童生徒への［ E ］の在り方の検討、SOSの出し方に関する教育を含む自殺予防の取組の推進等を図ることが重要である。

	A	B	C	D	E
1	健康観察	自律心	食育	規範意識	指導体制
2	エビデンス	健康リテラシー	食育	自己有用感	包括的な支援
3	エビデンス	自律心	健康相談	自己有用感	指導体制
4	健康観察	健康リテラシー	健康相談	自己有用感	指導体制
5	エビデンス	健康リテラシー	健康相談	規範意識	包括的な支援

（4）公益財団法人日本学校保健会冊子「学校における水泳プールの保健衛生管理 平成28年度改訂」（平成29年３月）に示された各文及び水泳プールに係る学校環境衛生基準（令和４年３月31日文部科学省告示第60号）について述べた文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 6 ］

A　中耳炎の児童生徒の水泳の可否については、原則的には治してから泳ぐべきだが、滲出性中耳炎罹患時に泳ぐ必要があるときは、鼻の病気が治ってから、あるいは耳管の機能が回復していることが条件であり、専門医の判断が必要である。

B　平成27年５月に、日本臨床皮膚科医会・日本小児皮膚科学会・日本皮膚科学会が示した「皮膚の学校感染症について」にて、伝染性膿痂疹（とびひ）は、プール水を介してうつることはないため、プールに入って構わないが、タオル、浮輪、ビート板などを介してうつることがあるため、これらを共有することはできるだけ避けると示されている。

C　水泳プールに係る学校環境衛生基準にて、「濁度は２度以下であること。」と示されている。日常点検では透明度に常に留意し、プール水は水中で２m離れた位置からプールの壁面が明確に見える程度に保たれていることを確認する。

D　水泳プールに係る学校環境衛生基準にて、「遊離残留塩素は、0.4mg/L以上であること。また、1.0mg/L以下であることが望ましい。」と示されている。日常点検では、プールの使用前及びプールの使用中１時間ごとに１回以上の測定を行う。

E　水泳プールなどが原因と思われる感染性の眼疾患が発生した場合は、感染拡大の予防のため、学校医とも相談の上でプール閉鎖、スーパークロリネーションなどの措置を検討する。スーパークロリネーションを行う場合は、学校薬剤師に相談する。

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	×	○	○	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	×	○	○
5	×	○	○	×	○

2　児童生徒等の健康診断について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）公益財団法人日本学校保健会冊子「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」（平成27年８月）に示されている内容について、次のア～オの問いに答えよ。

ア　次は、肥満度、成長曲線及び肥満度曲線について述べた文である。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。
解答番号は［　7　］

A　肥満度の計算式は、（実測体重－身長別標準体重）／身長別標準体重×100（%）である。

B　過去の肥満度の最大値に比べて最新値が20%以上小さい場合、進行性のやせと判定される。

C　成長曲線等を描くことで、栄養状態の変化、低身長や高身長、特に性早熟症により恒久的に身長の伸びがよくなっている状態を把握することができる。

D　肥満度30%以上は、高度肥満と判定される。

E　成長曲線と肥満度曲線が異常であると判断した場合は、学校医に相談し、必要であれば保護者によく説明して、専門医療機関への受診を勧める。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	○
2	○	×	○	×	○
3	○	○	×	×	○
4	×	×	○	○	×
5	○	○	×	○	×

イ　聴力及び耳鼻咽喉疾患の有無の検査の意義について、空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。１～５から一つ選べ。解答番号は［　8　］

○　聴力 検査の意義

大気を伝わってきた音は外耳道や中耳（鼓膜や［　A　］）で増幅されて内耳に到達する。内耳では感覚細胞の働きで音は電気的な信号に変換されて聴神経を経由して、［　B　］の聴中枢で認識される。この聴覚経路のどこかに障害が起こると、聴力（聞こえ）の障害が起こる。この聴力の障害を難聴という。難聴は学校における教育活動や生活に様々な、また重大な影響を及ぼす。難聴の有無、その程度を検査するのが聴力検査で、気付かれていない難聴を見つけたり、既に分かっている難聴を確かめたりする検査である。

○　耳鼻咽喉疾患の有無 検査の意義

単に耳、鼻、咽喉頭疾患の発見のみならず、［　C　］を踏まえて耳鼻咽喉科領域における心身の発達の程度もチェックする。また、知識や技術の習得を促すために必要な諸感覚の発達の程度をチェックするという意味で重要であり、特に言語発達や［　D　］、ひいては［　E　］、社会習慣、生活なども考慮に入れながら検査を進めることが重要である。

	A	B	C	D	E
1	半規管	小脳	日常の健康観察	運動発達	社会性
2	耳小骨	大脳	日常の健康観察	精神発達	社会性
3	耳小骨	小脳	検査時の様子	運動発達	学力
4	耳小骨	大脳	検査時の様子	精神発達	社会性
5	半規管	大脳	日常の健康観察	運動発達	学力

ウ　思春期早発症について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 9 ］

A　思春期早発症には、特発性中枢性といって正常な思春期が異常に早期に発来する場合と、腫瘍などから性ホルモンが異常に分泌される場合とがある。多くは特発性中枢性であり、男子によくみられる。

B　思春期早発症は、思春期が異常に早く経過するだけなので病気とはいえないが、身長の伸びが異常に早く止まってしまうので、最終身長（成人身長）が極端に低くなることが最大の問題である。

C　治療については、思春期の経過を人為的に遅らせる（４週に１回LH-RHアナログ製剤を皮下注射）ことによって、できる限り本来の最終身長（成人身長）にまで伸ばす治療が行われている。この治療が有効である鍵は早期発見・早期治療である。

D　診断は、男子では①９歳までに精巣（睾丸）が発育する、②10歳までに陰毛が生える、③11歳までにわき毛、ひげが生えたり、声変わりがみられるなどに注意する。

E　診断は、女子では①７歳６か月までに乳房がふくらみ始める、②８歳までに陰毛、わき毛が生える、11歳６か月までに初経（生理）が始まるなどに注意する。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	○	○
2	○	×	×	×	○
3	×	○	○	○	×
4	×	○	○	×	○
5	○	×	○	○	×

エ　健康診断時に注意すべき皮膚科関連における感染症について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。

解答番号は［ 10 ］

A　尋常性疣贅（いぼ）

ヒト乳頭腫菌による感染症で、手足の微小な擦過傷に感染し、結節を作る。次第に増数、増大するため早期の治療が望ましい。

B　伝染性軟属腫（みずいぼ）

軟属腫ウイルスによって生じ、皮膚と皮膚の接触によって感染する。プールでの感染が多いことから、みずいぼと呼ばれる。自然治癒を待つには長期間を要するため、周囲の小児に感染することを考慮して治療する。

C　トンズランス感染症

柔道やレスリングなどの組み合って行うスポーツ選手にみられる白癬症の一つである。臨床的には、脱毛や湿疹様の皮膚症状を示す。疑わしい症状があれば皮膚科専門医への受診を勧め、確定診断がつけば練習や試合で接触のあった選手全員に皮膚科医による診察を受けるよう指示する。また、感染のおそれがなくなるまで、組み合って行う練習や試合は禁止する。

D　アタマジラミ

毛髪に卵や成虫を見つけることで診断する。出席停止の必要はなく、感染している児童生徒を早期に一斉に治療を始めることが大切である。

E　疥癬

真菌（かび）による感染症で、強いかゆみを伴う。家族に同様の症状があり、指間や陰部に丘疹を認めることが多い。角化型疥癬（ノルウエー疥癬）では感染性が高く、登校（園）禁止とするが、通常の疥癬では出席停止の必要はない。

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	×
2	×	○	×	○	○
3	○	○	×	×	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	×	○	○

オ　健康診断時に注意すべき耳鼻咽喉科関連の疾患及び異常について、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 11 ］

A　慢性中耳炎は、急性中耳炎などで生じた耳鳴りが残っている単純性慢性中耳炎と、真珠腫性中耳炎とがある。耳だれは上気道炎や水泳後等に見られることがあるので、水泳の可否は耳鼻咽喉科で確認が必要である。通常は一側の軽度～中等度の難聴である。

B　アレルギー性鼻炎は、自然治癒率は低率で遅く、滲出性中耳炎、慢性副鼻腔炎を合併することも多い。くしゃみ、水様性鼻漏、鼻閉が３主徴で、日常生活では集中力の低下や学習効率の低下などの障害をもたらすことがある。

C　感冒の経過中、ウイルス及び細菌が副鼻腔に感染し急性副鼻腔炎が発症する。急性副鼻腔炎の治癒の遷延化や急性炎症の反復によって慢性副鼻腔炎へと移行する。慢性副鼻腔炎は、鼻症状に頭痛や頭重感などを伴うほか、注意力散漫などの鼻性注意不能症や睡眠障害の原因となる。

D　言語異常は、ことばの表出や理解に遅れのある言語発達遅滞と、話しことばとして正しい音が作れない構音の異常、そして嗄声が挙げられる。通常の学級に在籍している児童生徒等では、高度の言語発達遅滞が問題となることはまれであるが、軽度の言語発達遅滞は少なくない。その背景には、知的障害や発達障害、また難聴などがあることがあるので注意が必要である。

E　心因性難聴は、実際の聴力は正常であるにも関わらず聴力検査では難聴の結果となる。健康診断での聴力検査だけが異常となる場合と、本人が難聴を訴える場合とがある。学校や家庭での何らかのストレスが原因であることが多く、背景にある心理的因子の解明やサポートが必要である。

	A	B	C	D	E
1	×	○	○	○	×
2	×	×	×	○	○
3	○	×	○	×	○
4	○	○	×	×	×
5	×	○	○	×	○

（2）次は、平成27年９月11日に文部科学省から出された「児童、生徒、学生、幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項及び健康診断票の様式例の取扱いについて」を一部抜粋したものである。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 12 ］

A　身長の測定に当たり、被検査者の頭部を正位に保たせるには、被検査者の頭を正面に向かせて眼耳線が水平になるようにすること。すなわち、耳珠上縁と眼窩（がんか）下縁とを結ぶ線が水平になるよう位置させること。この場合、後頭部は身長計に必ず接触させること。

B　体重の測定に当たっては、実施に先だち体重計を水平に保ち、移動したり振動したりしないようにくさび等によって安定を図り、指針を零点に調節しておくことが必要であること。

C　栄養状態の検査は、触診によって行い、貧血の有無なども含めて総合的に判断するものとするが、栄養不良又は肥満傾向を発見するために必要な場合には、身長別標準体重から算出される肥満及びやせ傾向の観点も参考にすることも考慮すること。

D　視力の検査は、検査場に被検査者を入れてから２分以上経過した後、開始すること。

E　口腔（こうくう）の検査に当たっては、顎（あご）、顔面の全体を診てから、口唇、口角、舌、舌小帯、口蓋（こうがい）、その他口腔（こうくう）粘膜等の異常についても注意すること。

	A	B	C	D	E
1	×	○	○	×	○
2	×	○	×	○	○
3	○	○	×	○	×
4	○	×	○	○	×
5	○	×	○	×	○

（3）学校検尿、腎臓の働き及び腎臓に作用するホルモンについて述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。
解答番号は［ 13 ］

A　公益財団法人日本学校保健会冊子「学校検尿のすべて 令和２年度改訂」（令和３年３月）において、幼稚園児、小学校低学年の体位性（起立性）蛋白尿は頻度が少ないため、他の疾患も念頭に経過観察を行うことが示されている。

B　公益財団法人日本学校保健会冊子「学校検尿のすべて 令和２年度改訂」（令和３年３月）において、幼稚園・学校検尿で見つかる尿異常として、血尿と蛋白尿が同時に認められる場合、約30%の児が最終的に糸球体腎炎と診断されていると示されている。

C　公益財団法人日本学校保健会冊子「学校検尿のすべて 令和２年度改訂」（令和３年３月）において、３次精密検診の結果、尿蛋白/尿クレアチニン比は0.3g/gCr以上を有所見とすることが示されている。

D　レニンは、アルドステロンの分泌と関係し、腎臓の血圧が低下したときに分泌され、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系といわれる生理作用を引き起こす。

E　脳下垂体後葉から分泌されるパラソルモンは、抗利尿ホルモンといわれ、水分が不足して血液の浸透圧が高くなると分泌され、集合管に作用して水の再吸収を促進して尿量を調節するほか、血管を収縮させて血圧を上げる作用がある。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	×	○	×
3	×	○	○	○	×
4	○	×	○	×	×
5	×	○	×	○	○

3　児童生徒等の健康課題、支援や配慮を要する児童生徒の状況、保健教育及び健康相談について、次の（1）～（11）の問いに答えよ。

（1）次は、文部科学省冊子「学校・教育委員会等向け虐待対応の手引き 令和２年６月改訂版」を一部抜粋したものである。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［14］

A　学校・教職員の役割、責務として、児童虐待防止法第５条第２項において、虐待の予防・防止や虐待を受けた子供の保護・自立支援に関し、関係機関への協力を行うこと（努力義務）が定められている。

B　児童相談所等が行う子供の安全確認は、通告から48時間以内に行わなければならず、教職員も児童相談所等の職員からの聞き取りに対し、できるだけ詳しく状況を伝えるなど、学校としても協力することが重要である。

C　転校・進学時の学校間の情報の引継ぎでは、指導要録や健康診断票、虐待に係る記録の文書の写しを教育的観点から対面、電話連絡などを通じて新しい学校に必要な情報を適切に伝えることが重要である。学校間の文書提供については、本人の同意と承諾を得てから、転校・進学先の学校へ提供する。なお、虐待の問題性から、保護者の同意と承諾を得る必要はない。

D　性的虐待への対応について、性的虐待が疑われる場合や周囲から何らかの情報がもたらされた場合は、直ちに校長等管理職と共有し、学校として積極的な情報の収集や確認を行った後、早急に児童相談所に通告することが重要である。

E　学校等及びその設置者においては、保護者から情報元（虐待を認知するに至った端緒や経緯）に関する開示の求めがあった場合は、情報元を保護者に伝えないこととするとともに、児童相談所等と連携しながら対応する必要がある。また、学校が保護者から威圧的な要求や暴力の行使等を受ける可能性がある場合は、即座に設置者に連絡すると同時に、設置者と連携して速やかに児童相談所、警察等の関係機関、弁護士等の専門家と情報共有し、対応を検討することが重要である。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	×	○	○	×	○
3	×	×	○	○	×
4	○	×	○	○	×
5	○	○	×	○	×

（2）文部科学省冊子「学校給食における食物アレルギー対応指針」（平成27年３月）に示された各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 15 ］

A　学校給食における食物アレルギー対応の原則的な考え方として、優先的に考えることは安全性と栄養価の両立である。実務者（栄養教諭・学校栄養職員、養護教諭、学級担任等）は保護者より、食物アレルギー対応への理解を得る必要がある。

B　学校給食における食物アレルギー対応開始前に個別面談を必ず行う。面談は管理職及び実務者（栄養教諭・学校栄養職員、養護教諭、学級担任等）が必ず出席して行う。

C　栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭は、校長や教育委員会担当者及び調理場長と協力し、学校及び調理場の実態（学校・調理場の環境、食数、職員数等）を考慮し、対応食を安全に提供可能かを検討した上で、食物アレルギー対応委員会へ提出する資料を作成する。

D　学校給食において、食物アレルギーの原因食物に関連するものであっても症状誘発の原因となりにくい調味料・だし・添加物については、基本的に除去する必要はない。

E　広義の代替食は、除去した食物に対して何らかの食材を代替して提供する給食を指し、除去した食材や献立の栄養価を必ず考慮しなければならない。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	×
2	○	○	×	×	○
3	×	○	○	○	×
4	×	×	○	○	×
5	○	×	○	×	○

（3）公益財団法人日本学校保健会冊子「薬物乱用防止教室マニュアル 平成26年度改訂」（平成27年３月）の薬物乱用防止教室の進め方について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 16

A　警察職員、麻薬取締官・員ＯＢ、医師、薬剤師、薬務行政の担当者など、それぞれの専門性が十分生かせるような指導形態の工夫を行い、教員と十分な連携のもと「薬物乱用防止教室」を実施する。

B　保健、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間に学級担任、教科担任や保健主事などが中心となって薬物乱用防止教育の一環として企画するものであり養護教諭など、より専門的立場から豊富な知識や経験に基づいた指導を仰ぐ。

C　薬物乱用者や薬物依存の患者の治療、更生、社会復帰のための情報として、薬物乱用を経験したスポーツ選手やタレントが、更生を自ら語る内容のビデオ教材等は、児童生徒の「薬物乱用防止教室」に対する興味・関心や理解を深め、薬物乱用防止教室の教材に非常に適しており、有効である。

D　「薬物乱用防止教室」を実施するか否かを決める上で、学校やその地域に薬物乱用にかかわる問題があることを考慮に入れる必要がある。

E　薬物依存症の社会復帰施設職員を「薬物乱用防止教室」の講師にする場合、場合によっては、児童生徒が薬物乱用経験者の生き方や薬物のもつ興奮作用に興味をもったり、また、乱用をやめることができずにいる多数の薬物依存者が存在することに気付かず、薬物乱用問題の深刻な側面を軽視する危険性がある。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	×	○	○	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	×	○	×	○
5	○	○	×	×	○

（4）心身の健康課題について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［17］

A　学校保健安全法（平成28年４月１日施行）第29条第３項にて、学校においては心理的外傷等の心身の健康に対する影響を受けた子どもや関係者（教職員・保護者等）の健康を回復させるため、必要な支援を行うものと示されている。

B　公益財団法人日本学校保健会冊子「平成30年度・令和元年度 児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書」（令和２年３月）によると、「死にたいと感じることがある」と回答した中学生及び高校生は、男子で25.3%、女子では16.7%であり、これまでの平成24年度、平成26年度、平成28年度の調査に続き、男子の割合が高い。

C　過換気症候群とは、過換気により呼吸性アシドーシスを生じ、呼吸促拍、胸が苦しくなる、動悸などとともに、手足のしびれ、硬直、ふるえ、頭痛、意識消失などの症状が現れる。

D　公益財団法人日本学校保健会冊子「精神疾患に関する指導参考資料～新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習～」（令和３年３月）において、「うつ病などの気分障害と不安症を主な対象とした調査」では、日本人の約10%が一生に一回はそれらの精神疾患に罹ることが推定されている。

E　起立性調節障害の非薬物療法として、１日水分摂取量1.5～2.0Lを目標とするとともに、１日塩分摂取量10～12gをとることが推奨されている。

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	○	×
2	○	×	○	○	×
3	×	○	○	×	○
4	○	×	×	×	○
5	×	○	○	○	×

（5）厚生労働省作成の性感染症予防啓発リーフレット（平成28年度）に記載された主な性感染症とその症状について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 18 ］

A　2010年以降、梅毒の報告数は増加傾向を示しており、女性は30歳代、男性は30歳代～40歳代の報告が多くなっている。

B　淋菌感染症・性器クラミジア感染症は、男性では排尿痛、尿道不快感、尿道からの分泌物、女性ではおりものの変化や下腹部の痛みといった症状をきたすことがあるが、感染しても無症状な場合も多い。女性が感染した場合は不妊の原因となることがあるが、男性の場合はその原因とならない。

C　性器ヘルペスウイルス感染症は、男性器、女性器に痛みを伴う水疱ができ、潰瘍になるものもある。女性の場合、妊娠・出産時の感染が胎児に重篤な合併症を引き起こすことがある。

D　ヒトパピローマウイルス感染症は、性経験のある女性の半数以上が一度は感染するとされている。症状はほとんどなく、様々なタイプがあり、一部のウイルスは、性器にいぼができる尖圭コンジローマの原因となったり、子宮頸がんや膣がんなどの原因になったりする。

E　ＨＩＶ・エイズは、ＨＩＶに感染すると初期症状にかぜのような症状が見られることがあり、その後、自覚症状のないまま徐々に免疫力が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気（日和見感染症）などを発症する。早期に治療を開始し、適切な治療を続ければ、感染前とほとんど同じ生活を送ることが可能である。ＨＩＶ感染は検査でしかわからない。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	○	○
2	○	○	×	×	○
3	○	○	○	×	×
4	×	×	○	×	○
5	×	×	○	○	○

（6）支援や配慮を要する児童生徒の状況等について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 19

A　近年、小学校及び中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒数は、増加傾向にある。

B　「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」（令和４年12月13日 文部科学省）より、学級担任等が回答した内容から「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされた小学校及び中学校に在籍する児童生徒数の割合の推定値は、6.5%であった。

C　学校教育法施行規則が一部改正され、令和２年４月１日より、「通級による指導」を、高等学校及び中等教育学校の後期課程においても実施できるようになった。

D　「令和３年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」では、国公私立小・中学校合計の不登校児童生徒の約半数が不登校の主たる要因として、「無気力、不安」を挙げている。

E　厚生労働省が実施した「2019年国民生活基礎調査」の結果では、2018年の17歳以下の子どもの貧困率は７%であり、約14人に１人の子どもが相対的貧困状態にある。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	○	×	○	×	○
3	×	○	○	○	×
4	×	○	×	×	○
5	○	×	○	○	×

（7）次は、厚生労働省が文部科学省と連携して実施した、令和２年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和３年３月）の内容である。空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 20

なお、選択肢中のSSW、SCはそれぞれスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーのことである。

「ヤングケアラー」と思われる子どもへの対応として、学校に対して期待すること

- ヤングケアラーについての［ A ］
- 早期発見・気づき
- ［ B ］との連携
- 実態把握（聞き取り、面談、アンケート）
- 子どもとの信頼関係・話しやすい環境づくり
- 子どものケア・サポート・居場所づくり
- ［ C ］へのアプローチ（指導・相談）
- ヤングケアラーとなっている子どもへの［ D ］
- ［ E ］への情報提供・情報共有のしくみづくり
- 関係機関との連携

	A	B	C	D	E
1	認識の向上	SSW、SC	支援者	啓発	学校運営協議会
2	支援の充実	SSW、SC	支援者	介入	要保護児童対策地域協議会
3	認識の向上	保健所	支援者	介入	学校運営協議会
4	認識の向上	SSW、SC	保護者	啓発	要保護児童対策地域協議会
5	支援の充実	保健所	保護者	介入	学校運営協議会

（8）次は、文部科学省資料「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について（教職員向け）」（平成28年４月）を一部抜粋したものである。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。

1～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 21 ］

A　医療機関との連携に当たっては、当事者である児童生徒や保護者の意向を踏まえることが原則であるが、当事者である児童生徒や保護者の同意が得られない場合、具体的な個人情報に関連しない範囲で一般的な助言を受けることは考えられる。

B　性同一性障害としての診断を有する児童生徒は、学校段階が上がってもほぼ横ばいである。また、全体（小学校、中学校及び高等学校）としてみれば診断を有しない者の方が多い状況である。

C　教職員等の間における情報共有に当たっては、児童生徒が自身の性同一性を可能な限り秘匿しておきたい場合があること等に留意しつつ、一方で、学校として効果的な対応を進めるためには、教職員等の間で情報共有しチームで対応することは欠かせない。

D　性別に関する違和感には強弱があり、成長に従い変容がある場合がある。このようなことを踏まえ、関係学会のガイドラインは、18歳未満については診断に慎重な判断が必要としており、性同一性障害の可能性が高い場合でもあえて診断が行われない場合がある。

E　健康診断の実施に当たっては、性同一性障害に係る児童生徒への配慮と、他の児童生徒への配慮との均衡を取りながら支援を進めることが重要である。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	×
2	○	○	×	×	×
3	×	×	○	○	○
4	○	×	○	×	○
5	×	○	○	×	○

（9）次は、平成29年３月31日付け文部科学省初等中等教育局長通知「学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行等について」に示されているスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの職務内容について述べたものである。空欄Ａ～Ｅに当てはまる語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 22 ］

＜スクールカウンセラーの職務内容＞

（不登校、いじめ等の未然防止、早期発見、支援・対応等）

・　児童生徒及び保護者からの相談対応
・　学級や学校集団に対する援助
・　教職員や組織に対する［ A ］
・　児童生徒の［ B ］、児童生徒及び保護者に対する啓発活動

（不登校、いじめ等を認知した場合又はその疑いが生じた場合、災害等が発生した際の援助）

・　児童生徒への援助
・　保護者への［ A ］
・　教職員や組織に対する［ A ］
・　事案に対する［ C ］連携・支援チーム体制の構築・支援

＜スクールソーシャルワーカーの職務内容＞

（不登校、いじめ等の未然防止、早期発見、支援・対応等）

・　地方自治体［ D ］と教育委員会への働き掛け
・　学校［ D ］と学校への働き掛け
・　児童生徒及び保護者からの相談対応
・　地域［ D ］と関係機関・地域への働き掛け

（不登校、いじめ等を認知した場合又はその疑いが生じた場合、災害等が発生した際の援助）

・　児童生徒及び保護者との面談及び［ D ］
・　事案に対する［ C ］連携・支援チーム体制の構築・支援
・　［ E ］における体制づくりへの働き掛け

	A	B	C	D	E
1	コンサルテーション	心の教育	学校内	アセスメント	自治体
2	スーパーバイズ	学習支援	学校外	コンサルテーション	学校
3	スーパーバイズ	心の教育	学校内	コンサルテーション	自治体
4	コンサルテーション	学習支援	学校内	アセスメント	自治体
5	コンサルテーション	心の教育	学校外	アセスメント	学校

（10）がん教育について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　次の各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 23

A　文部科学省が令和４年９月８日（令和４年９月29日修正）に発表した「令和３年度におけるがん教育の実施状況調査の結果」にて、外部講師を活用しなかった理由として、「適当な講師がいなかった」という回答が50％を超えていた。

B　子供たちが、がんについて正しく理解し、がん患者や家族などがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質・能力の育成を図ることが重要である。

C　「がん教育」は、がんを他の疾病等と区別して特別なものとして扱い、他の様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立とは分けて指導する。

D　平成29年・30年に改訂された学習指導要領において、中学校及び高等学校の保健体育でがんについて取り扱うことが明記されるとともに、がんの予防や回復に関する内容の充実が図られた。

E　国は、平成26年度より「がんの教育総合支援事業」を行い、全国のモデル校において、がん教育を実施するとともに、がん教育の教材や外部講師の活用に関するガイドラインを作成し、がん教育を推進している。

	A	B	C	D	E
1	×	○	×	○	○
2	○	○	○	×	×
3	○	×	×	○	○
4	×	×	○	×	○
5	○	○	×	○	×

イ　次は、文部科学省作成「外部講師を活用したがん教育ガイドライン」（令和３年３月一部改訂）の参考資料「がん教育に必要な内容」を一部抜粋したものである。正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 24

A　がんになる危険性を増す要因としては、たばこ、細菌・ウイルス、過量な飲酒、偏った食事、運動不足などの他、一部のまれなものではあるが、遺伝要因が関与するものもある。

B　緩和ケアは終末期から開始されるものであり、痛みや心のつらさなどの症状を和らげ、通常の生活ができるようにするための支援である。

C　がんの治療の際に、単に病気を治すだけではなく、治療中・治療後の「生活の質」を大切にする考え方が広まってきている。治療による影響について十分理解した上で、がんになっても、その人らしく、充実した生き方ができるよう、治療法を選択することが重要である。

D　がん患者は増加しているが、生存率も高まり、治る人、社会に復帰する人、病気を抱えながらも自分らしく生きる人が増えてきている。そのような人たちが、社会生活を行っていく中で、がん患者への偏見をなくし、お互いに支え合い、共に暮らしていくことが大切である。

E　がんに罹(り)患した場合、全体で７割以上、早期がんに関しては９割近くの患者が治る。がんは症状が出にくい病気なので、早期に発見するためには、症状がなくても、がん検診を定期的に受けることが重要である。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	×	○
2	×	×	○	○	×
3	×	○	×	×	○
4	×	○	○	○	×
5	○	×	○	○	×

（11）次は、公益財団法人日本学校保健会冊子「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引ー令和3年度改訂ー」（令和４年３月）における養護教諭が行う健康相談について一部抜粋したものである。空欄A～Dに当てはまる適切な語句の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は［ 25 ］

養護教諭は、職務の特質から児童生徒の心身の健康課題を発見しやすい立場にあることから、［ A ］などの早期発見、早期対応に果たす役割や、健康相談や保健指導の必要性の判断、受診の必要性の判断、医療機関などの地域の関係機関等との連携における［ B ］の役割などが求められている。

養護教諭の職務の特質として挙げられる主な事項

・全校の子供を対象としており、［ C ］成長・発達を見ることができる。

・子供は、心の問題を言葉に表すことが難しく、［ D ］として現れやすいので、問題を早期に発見しやすい。

	A	B	C	D
1	発達障害	専門家	入学時から経年的に	身体症状
2	いじめや児童虐待	コーディネーター	入学時から経年的に	身体症状
3	発達障害	コーディネーター	集団の中で個々の	問題行動
4	発達障害	コーディネーター	入学時から経年的に	問題行動
5	いじめや児童虐待	専門家	集団の中で個々の	問題行動

4　解剖生理及び救急処置について、次の（1）～（5）の問いに答えよ。

（1）脳について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　図1は左側より見た頭部の正中断面図、図2は左側より見た大脳皮質の機能局在を示したものである。空欄A～Dに当てはまる部位の組合せはどれか。次のページの**1**～**5**から一つ選べ。
解答番号は 26

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：赤十字救急法講習教本（13版）
日本赤十字社編集　日赤サービス
39ページ　下図

図1　頭部の正中断面図（左側より見た）

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：解剖トレーニングノート（第4版）
竹内修二著　医学教育出版社
187ページ　上図

図2　大脳皮質の機能局在（左脳）

・ [A] は半透明のとても薄い膜である。
・ [B] は脳や脊髄の表面に密着している。
・ [C] に障害が起こると、意味のある言語音の発声ができづらくなる（運動性失語）。
・ [D] が侵されると、聞いた言語音の意味がわからなくなる（感覚性失語）。

	A	B	C	D
1	軟膜	くも膜	聴覚連合野	ウェルニッケ野
2	くも膜	軟膜	ブローカ野	ウェルニッケ野
3	硬膜	軟膜	ウェルニッケ野	ブローカ野
4	硬膜	くも膜	ブローカ野	ウェルニッケ野
5	くも膜	軟膜	ウェルニッケ野	聴覚連合野

イ　次は、公益財団法人日本学校保健会冊子「精神疾患に関する指導参考資料～新学習指導要領に基づくこれからの高等学校保健体育の学習～」（令和３年３月）に示されている心の健康と脳の働きについて述べたものである。空欄Ａ～Ｄに当てはまる大脳辺縁系の部位を、選択肢 **1** ～ **4** からそれぞれ一つ選べ。

Ａの解答番号は［ 27 ］、Ｂの解答番号は［ 28 ］、
Ｃの解答番号は［ 29 ］、Ｄの解答番号は［ 30 ］

大脳辺縁系には、喜怒哀楽など感情を生み出す「［ A ］」、五感で得た感覚情報を記憶し衝動的な行動を起こす「［ B ］」、報酬や嗜癖、快感を司る「［ C ］」、大脳辺縁系の各部位を結びつけ感情を形成する、また学習と記憶に関わりを持つ「［ D ］」があります。食欲、睡眠欲、性欲などの欲求、不安や恐怖、怒り、愛情などの感情を生み出しており、人間の動物としての本能に関わっています。

（選択肢）

1　帯状回	**2**　扁桃体	**3**　海馬	**4**　側坐核

（2）次は、耳の構造を示した図である。空欄A～Eに当てはまる部位を、それぞれ**1**～**5**から一つ選べ。

Aの解答番号は［ 31 ］、Bの解答番号は［ 32 ］、Cの解答番号は［ 33 ］、
Dの解答番号は［ 34 ］、Eの解答番号は［ 35 ］

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：https://lucentechno.com/column/sound_recorder/2710/

図　耳の構造（右耳）

	A	B	C	D	E
1	ツチ骨	耳介結節	蝸牛神経	毛様体神経節	耳珠
2	立方骨	対耳株	毛様体神経節	前庭神経	耳管
3	アブミ骨	半規管	上殿神経	正中神経	鼓室
4	豆状骨	耳垂	正中神経	上殿神経	三角窩
5	キヌタ骨	耳輪脚	前庭神経	蝸牛神経	耳甲介腔

（3）救急処置について述べた各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 36

A　体温測定のポイントとして、排卵を伴う月経のある女子の場合は、月経周期により基礎体温に変化があり、卵胞ホルモン（エストロゲン）の影響による高温期には、のぼせや熱感を訴えることがあるので注意する。

B　血圧測定時、上腕に巻くマンシェットの幅の目安は、個々の上腕の太さにもよるが基本的には３～６歳未満では７㎝幅、６～９歳未満では９㎝幅、９歳以上では成人用の12㎝幅のものを使用する。

C　環境省・文部科学省作成「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」（令和３年５月）では、体重の３％以上の水分が失われると体温調節に影響すると示されている。

D　肝臓損傷の症状は、右上腹部痛が特徴であり、その痛みが右肩甲骨部（背部）に放散する。

E　腹膜刺激症状の検査の１つである筋性防御とは、腹壁に指を立てて押して行き、急に離すと、ピーンとした痛みを感じる。

	A	B	C	D	E
1	○	×	×	○	○
2	○	×	○	×	○
3	○	×	○	○	×
4	×	○	×	×	○
5	×	○	○	○	×

（4）次のA～Dの場合における適切な体位の正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。

解答番号は 37

A　意識消失
（水泳で溺れた場合など呼吸は戻っても意識が戻らない場合）

B　気管支喘息発作や呼吸困難

C　腹痛・腹部損傷

D　アナフィラキシーショック

（選択肢）

著作権保護の観点により、図を掲載いたしません。

出典：ここがポイント　学校救急処置
基本・実例、子どものなぜに答える
全養サ書籍編集委員会　農山漁村文化協会
159ページ、161ページ

	A	B	C	D
1	エ	イ	ウ	ア
2	エ	ア	イ	ウ
3	イ	エ	ウ	ア
4	ア	エ	イ	ウ
5	ア	イ	エ	ウ

（5）「JRC蘇生ガイドライン2020」に示された各文のうち、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、正しい組合せはどれか。**1**～**5**から一つ選べ。解答番号は 38

A　一次救命処置は、市民が行うこともできる。

B　一次救命処置とは呼吸と循環をサポートするための一連の処置である。

C　一次救命処置の要素のうち、CPRと気道異物の除去は特別な医療器具を必要とせず、誰もがすぐに行える処置である。

D　救助者が人工呼吸の訓練を受けており、それを行う技術と意思がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を15：2の比で行う。

E　二次救命処置は日常的に蘇生に従事する者が中心となって行う高度な救命処置は含まれない。

	A	B	C	D	E
1	×	×	×	○	○
2	○	×	○	×	○
3	○	○	○	×	×
4	×	○	×	○	○
5	○	×	○	○	×

5　食物アレルギー（鶏卵によるアナフィラキシーショック既往有、アドレナリン自己注射薬及び内服薬有）のある小学１年生の児童に対する学校の食物アレルギー対応について、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１）学校生活管理指導表提出の際に行う面談について、文部科学省冊子「学校給食における食物アレルギー対応指針」（平成27年３月）に示されている「保護者との面談において聴取する事項」を、例示以外に三つ記せ。
例）薬の持参希望の有無

（２）入学後すぐに行う本児童に対する保健指導の目標を、三つ記せ。

（３）本児童は、入学後の遠足で、友人からもらったお菓子を喫食したところ、アレルギー症状が出現した。食物アレルギー事故発生時の対応について、次のア、イの問いに答えよ。

ア　文部科学省及び公益財団法人日本学校保健会作成のアレルギー疾患対応研修資料（平成27年）に示されている緊急性が高いアレルギー症状への対応について、次の①、②の問いに答えよ。

①　緊急性の高いアレルギー症状として示されている、全身の症状及び呼吸器の症状をそれぞれ二つ、消化器の症状を一つ記せ。

②　救急車が到着するまでに、本児童に対して行う救急処置を三点、簡潔に記せ。

イ　緊急性が低いアレルギー症状のある児童自身への対応を三点、簡潔に記せ。

令和６年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

三次選考択一問題の正答について

校種		教科・科目	養護教諭

解答番号	正答番号	解答番号	正答番号	解答番号	正答番号	解答番号	正答番号
1	2	11	5	21	4	31	1
2	1	12	2	22	1	32	3
3	4	13	2	23	1	33	5
4	4	14	1	24	5	34	5
5	2	15	3	25	2	35	3
6	3	16	5	26	2	36	5
7	3	17	4	27	2	37	1
8	2	18	5	28	3	38	3
9	3	19	1	29	4		
10	4	20	4	30	1		

受験番号	

令和６年度大阪府・大阪市・堺市・豊能地区公立学校教員採用選考テスト

養護教諭　解答用紙　（１枚のうち１）

5

得点	

（１）

過去の食物アレルギー発症（アナフィラキシーを含む）情報	／	
家庭での対応状況	／	
緊急時の対応連絡先・方法　など	／	

（２）

鶏卵を含んだ食べ物を食べないようにすることができる。	／	
学校生活における注意事項などを理解し、行動することができる。	／	
アレルギーの症状が出たら、大人に知らせることができる。	／	

（３）ア

①	全身の症状	ぐったり	／	
		意識もうろう　など	／	
	呼吸器の症状	のどが締め付けられる	／	
		犬が吠えるようなせき　など	／	
	消化器の症状	我慢できない腹痛　など	／	
②	ただちにアドレナリン自己注射薬を使用する。		／	
	反応がなく呼吸がなければ、心肺蘇生を行う（ＡＥＤの使用）。		／	
	その場で安静にする（立たせたり、歩かせたりしない）。		／	

（３）イ

内服薬を飲ませる。	／	
安静にできる場所へ移動する。	／	
５分ごとに症状を観察・記録して状況を判断し、症状の程度に応じて対応する。	／	